

科目名称	統合実習	学年学期	単位数	時間数
		3 学年全期	2	90
担当教員	井ノ上眞由美 栗林のり子 大北米香 石崎幸太郎 大塚環 水木茜	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

統合分野では、急激に変化している医療・社会環境の中で、基礎教育と臨地との乖離を緩和することを目的としている。これまでの学習を統合させつつ、チーム医療及び他職種との協働の中で看護師としての役割を理解し、安全な医療や看護が実践できる能力を、より臨地に近い状況で学べるようにしたいと考える。

統合実習では、2 単位 90 時間で、「専門分野」での実習をふまえて複数の患者を受け持ち実習することで、実践的な看護の実際を学ぶことを目標にしている。つまり、複数の患者の看護過程が展開でき、保健・医療・福祉チームの中での役割を理解し、症状、検査、治療に伴う援助技術に加え、看護管理、医療安全など、臨地での実践的能力を身につけることをねらいとしている。具体的には、①2 人の患者を受け持ち看護過程の展開をとおして、優先順位や時間管理について学ぶ。②夜間実習を経験し、夜間の看護師の業務の実際や役割を知るとともに、夜間の患者の状況を知る。③看護長、パートナーシップ・ナーシング・システム(以下、PNS)における看護師のシャドーイングをとおして各業務の実際と役割を学ぶ。さらに、看護師として看護に対する考えをより深め、専門職業人としての自覚を深めて欲しいと考える。

【2】 学習目標

1. 病院組織における看護部の役割や病棟看護師長の役割を学び、病棟管理の実際の見学をとおして看護管理の実際を理解できる。
2. 複数の患者を受け持ち、優先度と時間管理を考慮した看護実践ができる。
3. 夜間の看護をとおして看護の継続に必要なシステムと援助の実際が理解できる。
4. チーム内の看護師の役割を理解し、業務の調整や、医師や多職種との協働及びチームの一員としての役割が理解できる。
5. 自己の看護をふり返り、自己の課題が明確にできる。
6. 看護者の倫理綱領及び本校の倫理綱領に基づいた行動ができる。

【3】 第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳および権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心をもち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1 週目	看護管理について看護部長および看護長より講義を受ける。 病棟オリエンテーションを受け、看護師シャドーイングにより病棟の概要を知る。 2 人の受け持ち患者を受け持ち、情報収集・看護計画立案を行う。	臨地実習
2 週目	看護計画に基づき 2 人の患者さんの援助を優先度と時間管理を考慮して行う。 シャドーイングで夜間実習を行い、看護師の業務や役割を知るとともに、患者さんの状況や過ごし方を知る。 看護倫理について考える。	
3 週目	看護長、看護師リーダー、メンバーをシャドーイングし、それぞれの役割について知り、業務の調整や、多職種との連携、チームの一員としての役割を学ぶ。	

【5】 評価方法

ルーブリック評価を用いた評価規準に基づき、実践・態度・記録より総合的に評価する。60 点以上を合格とする。

【6】 教科書

上泉和子:系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践(1) 看護管理 (第 11 版) 医学書院 2026 (電子版)
茂野香おる:系統看護学講座 専門分野 基礎看護学(1) 看護学概論 (第 17 版) 医学書院 2024 (電子版)

【7】 参考書

藏谷範子:関連図の書き方をマスターしよう,サイオ出版
東風平智江美,田村正枝:疾患別/看護ケアのための病態関連図,医学芸術社

【8】 受講生へのメッセージ

3年間の学びの集大成となります。複数の患者さんを受け持ち、できるだけ臨地に即した看護を実践します。